

卓上カレンダー表面

環境と人に優しいこと

カラーユニバーサルデザインとエコロジー

1 睦月
2007 January

日曜日 Sunday	月曜日 Monday	火曜日 Tuesday	水曜日 Wednesday	木曜日 Thursday	金曜日 Friday	土曜日 Saturday
	1 大安	2 赤口	3 先勝	4 友引	5 先負	6 仏滅
	元旦					
7 大安	8 赤口	9 先勝	10 友引	11 先負	12 仏滅	13 大安
	成人の日					
14 赤口	15 先勝	16 友引	17 先負	18 仏滅	19 赤口	20 先勝
21 友引	22 先負	23 仏滅	24 大安	25 赤口	26 先勝	27 友引
28 先負	29 仏滅	30 大安	31 赤口			

2 如月
2007 February

日曜日 Sunday	月曜日 Monday	火曜日 Tuesday	水曜日 Wednesday	木曜日 Thursday	金曜日 Friday	土曜日 Saturday
				1 先勝	2 友引	3 先負
4 仏滅	5 大安	6 赤口	7 先勝	8 友引	9 先負	10 仏滅
11 大安	12 赤口	13 先勝	14 友引	15 先負	16 仏滅	17 大安
建国記念の日	振替休日					
18 先勝	19 友引	20 先負	21 仏滅	22 大安	23 赤口	24 先勝
25 友引	26 先負	27 仏滅	28 大安			

卓上カレンダー裏面には説明が入っています。

環境と人に優しいこと

エコロジーと私達の取り巻く環境

私たちは「環境」や「エコロジー」などという言葉を目頃から良く耳にします。また考えやテーマとして学んだりすることもあります。果たしてどれだけ日常生活に浸透しているのでしょうか？社会的に認知されているものは多くあり住みやすい環境へと変化していますが、さらに新しい未来をみんなが暮らしやすく、そして私たちの周りの環境と人々のことを真剣にもう一度考えるべきだと考えます。

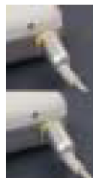
私たちの大切な人へ、色もバリアフリーへ

日常生活において、「色」は重要な情報伝達手段になっています。今日のパソコンの普及で、誰でも自由に簡単に「色」を扱えるようになりました。また、印刷技術の進歩により割と簡単にカラーを用いたり、案内掲示板も多色のものが増え、操作画面や家電製品などのパイロットランプにも多色が使われています。さらに公共施設や展示施設などにおいてもテーマごとに色分けされていたり、誘導サインや路線図・時刻表などもさまざまな色が線や文字で使われています。まさに私たちの周りは色彩環境がカラフルになっています。ところが、これらの色使いは一般の色覚の人の見え方だけを考慮して作られている場合がほとんどで、色弱者が情報を読み取れずに不便を感じるケースがあり、それらの不備を考慮すべきではないでしょうか？

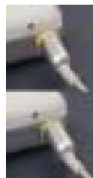
一般の色覚者の見え方

色弱者の見え方

充電中



充電完了

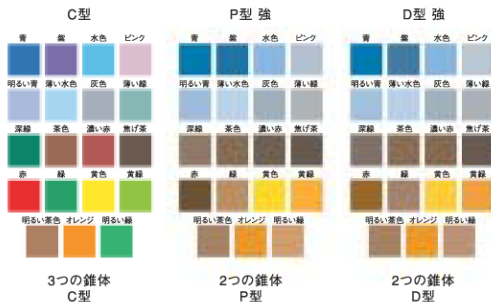


「充電中」も「充電完了」も同じに見えてしまいます。

カラーユニバーサルデザイン

色の感じ方はすべての人が同じではありません。遺伝子の違いや色々な目の疾患によって色の見え方が通常と異なる人が、日本に500万人以上存在します。様々な色覚を持つ人々に配慮して、なるべく全ての人に情報がきちんと伝わるように考慮してつくられたデザインを、カラーユニバーサルデザインといいます。

色覚のタイプによる見え方のちがい



色弱者はあなたの周りにも

日本人男性の約20人に1人(5%)、女性の約500人に1人(0.2%)、日本全体では300万人以上いるとされています。世界では2億人を超える人数で、AB型の血液型の男性の頻度に匹敵する人数です。



こんな風に見える方がいます。

※色弱変換ソフトvischeckで変換処理をした画像です。

日常生活のある一部がこのように見える方がいます。意図する為の色の使い方が逆に見えることが多々あります。私たちには感じにくいからこそカラーユニバーサルカラーデザインが必要なのですね。



警告ランプ

工場などでよく見かける警告ランプも赤のランプは光っているのかわからないですね。



リモコン

BSの項目を選択するボタンの色も色弱者には判別ができない場合があります。



算数セット

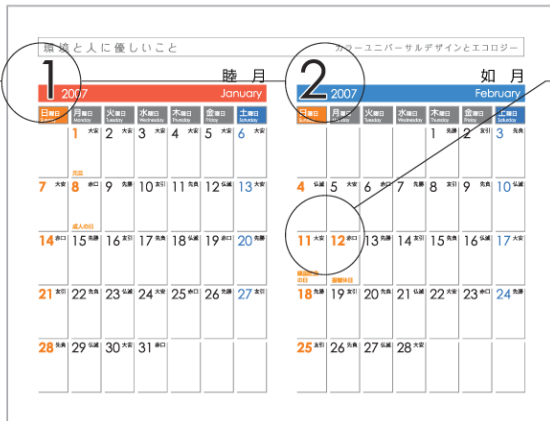
子どもが使う算数セットも色の識別が困難な場合があります。特に色弱者の子どもは見にくいようです。

このカレンダーの カラーユニバーサルデザイン

カレンダーは私たちの身近にあるもっともポピュラーなサイン。
早く正確に日付と曜日を知るための大切なツールです。

色の重ね方に 気をつける 01

カラーユニバーサルデザインでもっとも注意すべき点は隣り合う色の配色の配慮です。場合によっては全く認識することが不可能な場合があり、そのようなことをさけるために白線などをつけます。



差別化させる 色の使い方 02

カレンダーの休日は赤を一般的に使われることが多いですが色弱者の中には赤と黒の識別が難しい方がいます。それではせっかくの休日を分かりやすくしてあるのに平日と見え方が一緒では意味がありません。そこでオレンジを使い形を変えるなどの工夫を加えることで判別しやすくします。

このカレンダーの その他の「環境と人に優しいこと」

【紙のリサイクル】

使用済みの古紙を回収して再び紙の原料として再生利用すること。これは資源の有効利用になるとともに、都市ゴミ対策にも大変に役立ちます。また、限りある資源を有効利用し環境を守る手助けをしているのです。



【食物のインキ】

大気汚染の原因となるVOC(揮発性有機化合物)の大気排出を、セーブでき、紙とインキが分離しやすい為、リサイクルに適しています。また、生分解性に優れ、廃棄処分した場合の土中分解が早い自然に還元する生分解が容易です。環境には豆油を利用するため石油資源の抑制につながります。



【エコマークのカレンダーのカバー】

エコマークは、私たちの身のまわりにある商品の中で、「生産」から「廃棄」にわたるライフサイクル全体を通して環境への負荷が少なく、環境保全に役立つと認められた商品につけられています。このカバーはプラスチックの再利用によって作られているため資源の有効利用に貢献しているといえますね。

